はる よし ばし

春吉橋架替事業



概要

本事業は、老朽化が進む国道202号春吉橋(延長約60m)の架替を行い、耐震性能の向上を図ることにより、災害時における第一次緊急輸送道路としての機能を確保するとともに、福岡市が進めている都心部における回遊性向上の取組と連携した賑わいのある空間づくりと福岡県が実施中の河川改修事業と連携し、河川の流下能力向上に寄与するものです。

整備数果

- ・橋梁の耐震性向上により、災害時の緊急 輸送路としての機能を確保
- 都心部における回遊性向上の取り組みと連携し、賑わいのある空間づくりに寄与
- ・那珂川の河川改修事業と連携し、河川の 流下能力向上に寄与

現状

春吉橋は、昭和36年に架設されて以来50年余りが経過しており、下部工の損傷が著しく、干潮区域(河口から約1.5km)であるため、塩害も進行しています。さらに基礎工が木杭であり、現行道路橋示方書に規定する耐震性能を満足していません。

また、歩行者の通行が多いが歩道の有効幅員は約1.9mと狭く、通行に支障を来しています。



上空(上流側)より春吉橋を望む

今後

平成25年は、測量、地質調査、橋梁設計に着手します。







